

2024年度活動概要

ライティング指導研究会

ライティング指導研究会では、大学における英文のライティング指導の在り方と実践的指導法について考え、研究を行っています。2024年度のプロジェクトテーマは、前年度に引き続き、第18次プロジェクトである「英語教育の転換期におけるライティング指導再考：学習コミュニティの形成と学生の学び」でした。

2024年度も、下記のように4月、7月、9月、12月、及び3月の例会全てをオンラインで行い、会員の研究発表と意見交換を軸に活動を行いました。また、12月に立命館大学で開催されたJAAL in JACET2024では、会員の大年順子先生（岡山大学）と副代表の築地原尚美先生（滋賀県立大学）と代表のSean White（龍谷大学）がSIGポスタープレゼンテーションに参加し、訪問者の先生方に当該研究会の説明及び情報・意見交換をしました。

最後に、隔年で編纂している『JACET 関西支部ライティング指導研究会紀要』の第16号（<https://sites.google.com/site/jacetkansaiwrg/bulletin>）を発刊することができました。当該研究会の紀要は、研究会会員がそれぞれの研究成果を報告するもので、第18次プロジェクト（2023年度～2024年度）の第16号では、研究論文が2編、研究ノートが2編という、AI時代におけるライティング指導の実践と研究に向けて有意義な基盤となりました。掲載されたすべての原稿は厳格な査読プロセスを経ており、ライティング指導とその研究の進展に大きく貢献できるものと確信しています。

第1回研究会例会

2024年4月21日（日）10:00～13:00（オンライン）

AIとライティング指導に関するレビュー（論評）：

1. 築地原尚美先生（滋賀県立大学）：Mizumoto, A. (2023). Data-driven Learning Meets Generative AI: Introducing the Framework of Metacognitive Resource Use.
2. Ekaterina Arshavskaia 先生（静岡県立大学）：Liang, W. et al. (2023). Can large language models provide useful feedback on research papers? A large-scale empirical analysis.

第2回研究会例会

2024年7月20日（土）10:00～13:00（オンライン）

実践・研究発表：Sean WHITE（龍谷大学）「Exploring the Use of Generative AI Chatbots for Second Language Writing Feedback」

第3回研究会例会

2024年9月28日（土）10:00～13:00（オンライン）

研究発表：ヤングジョンソン千穂氏（ジョージア州立大学応用言語学博士課程）「GPT-4の統合型英作文自動採点の性能評価」

第4回研究会例会

2024年12月22日（日）10:00～12:45（オンライン）

研究発表：

1. 三田薫先生（実践女子大学）・霜田敦子先生（実践女子大学）「生成AIを用いた英文の質を評価するシステムの分析」
2. 伊藤有子先生（福島工業高等専門学校）「高専生のTransableを使用した英作文活動における語彙数と評価と学生によるTransableの使用感について」

第5回研究会例会（オンライン）

2025年3月9日（日）10:00～12:00

研究発表：上條 武先生（立命館大学）「L2大学院生のMAエッセイサインメントにおける文献引用：文献引用を議論構成に適応させるライティング」